

編集後記

2017年9月号をお届けします。暑かった夏でしたが、ようやく涼しい風が吹くようになりました。台風がくる度に涼しくなりますが、台風の被害が無いことを願っています。

さて、本号の特集は、「母斑・母斑症 UP DATE」です。「色素性母斑・乳児血管腫」では、色素性母斑と乳児血管腫の治療について形成外科から、「神経線維腫1型（レックリングハウゼン病）」では皮膚科の立場から、「結節性硬化症」では、全身の包括的管理治療の重要性について、「巨大色素性母斑」では整容面と悪性化予防の重要性について、「Sturge-Weber 症候群」では血管腫による随伴症状に対する治療の重要性について概説いただきました。母斑・母斑症は、多くは難治性で、いまだに本人や家族にとって身体的、心理的に大きな問題です。小児科医ができる治療と精神的サポートが大切であると考えます。読者の先生方には、ご熟読いただき、日常診療にお役立ていただければと思います。

特集以外の論文も充実しています。「綜説」の「小児に対する小腸カプセル内視鏡を用いた小腸病変の検索」では小腸病変の診断への有用性が述べられています。「急性虫垂炎の治療方針」では、保存的治療

や、interval appendectomy の方針の導入について述べられています。

「診療」では、「小児の片頭痛—診断のプロセスと治療」「小児の咽頭診療のポイント—扁桃肥大と扁桃炎」の解説をいただきました。片頭痛治療や咽頭観察の実践的な概説です。

「小児保健」では食行動の発達について、また「トピックス」では日常診療における疑問を臨床研究につなげるヒントについて概説していただきました。

また、症例報告も1編載っています。

「最近の外国業績より」では日本医科大学小児科教室からアレルギーに関する論文を紹介いただきました。

以上、非常に充実した、日常診療に役立つ内容になっていますので、ご一読下さいますようお願い致します。

(中西 敏雄)

編集：伊藤保彦・河野陽一・中西敏雄・岡部信彦・高橋孝雄（ABC 順）

小児科

第58巻第10号 9月号
2017年9月1日発行（毎月1回1日発行）
定価（本体2,600円＋税）
年間購読料金
定価（本体41,000円＋税）
〔年間13冊（増刊号、増大号を含む）の誌代〕
〔年間予約購読者に限り送料無料〕
※別冊は年間購読に含まれません※

発行所 金原出版株式会社
発行者 福村直樹
〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-14
Tel 03(3811)7165〔雑誌部直通〕
Tel 03(3811)7184〔営業部直通〕
FAX 03(3813)0288
<http://www.kanehara-shuppan.co.jp>
振替口座 00130-1-191269
印刷所 三報社印刷株式会社 Tel 03(3637)0005
広告申込先 福田商店 Tel 06(6941)5600

- ・本誌に記載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は金原出版株式会社が保有します。
- ・**JCOPY** <（社）出版者著作権管理機構 委託出版物>
本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、（社）出版者著作権管理機構（電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, e-mail:info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。